



平成 24 年 10 月 26 日 第 2 卷(第 29 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

目次

1. 現地支援活動報告
2. 現地感想文
3. 現地活動から
 - ①日如山・2年ぶり神輿巡行
 - ②恵み野団地だより
4. 災害対策本部からのお知らせ
5. 事務所感想文



中辻さん（現地担当）最終日のメンバーと

— 現地石巻 photo —

●●●1. 現地支援活動報告

活動期間:2012年10月11日~10月13日
秦 靖宏 (大阪府済生会富田林病院)

初めて参加させていただきました。

仙台に5年ほど住んでいたこともあり、第二の故郷とも思っていた宮城県でしたが、一年半たった今でも、石巻のみならず様々な場所の変貌や、被害の大きさに言葉が出てきません。

私の活動は、1期と2期のアセスメントによってソーシャルワーカーの介入が必要とされたケースに対して、電話連絡・訪問をし、必要であれば何らかの社会資源につながるという活動でした。電話、訪問を行った対象者のケースにおいて、瓦礫の排除や物の物理的な見える援助から、コミュニティーが破壊されたことによる孤独感、支援の見えない状況から生まれる置き去り感を感じさせないような精神的フォローが必要とされている状況に移行していると感じられました。

「あまりにも大きな出来事であったために、実際にはまだ1年半程しか経過していないのに、もう何年も前のことに感じられる。それほど生活が変わってしまったんだ。」とか「物の支援を受ける側の立場から自立しなければならない、自立して町を興していかなければならないと…」そう言われる地元の方の思いに沿った支援が、短期間ということもあり十分なサポートが出来たかどうかは疑問であり、心残りです。

現地で頑張っておられるスタッフの皆さんのサポートのおかげで、ちょっとだけ活動できたに過ぎないと思います。大阪に帰っても何か出来る支援を継続していきたいなと思いました。

子どものまち・いしのまき

— 現地石巻 photo —

※「子どものまち・いしのまき」は、10/13(土)・

14(日)に石巻市街地で開催された、子供が主役のイベントです。

当日は実際のお店や空き店舗を使い、本屋・雑貨屋といった職業模擬体験イベントや、ストリートパーティを中心におこなわれました。

2,000人近い親子の参加があり、大盛況に終わったようです。

<http://mugen.k-w-m.jp/1561>



●●●2. 現地感想文

●●●10/16 中辻 康博(現地担当)

昨日、久保木さんは牡鹿半島へ、中辻は北上地区へフォロー訪問を行いました。どちらも中里のサポートセンターから約1時間近くかかるエリアで、石巻市の南と北の端です。

改めて石巻市の広さを実感した一日でした。

●●●10/17 久保木 美由紀(現地担当)

今朝の新聞に、災害復興住宅への入居希望世帯が3600世帯あり、石巻市内の住宅建設予定が4000戸。現段階で建設が決定しているのが840戸とのこと。用地買収等、建設にあたり課題が山積みな状態です。

復興に向け明るいニュースが増える中、課題が目前に迫っているような状態です。

●●●10/18 村松 愛子(東京都 柳原リハビリテーション病院)

かねてから関心はあったものの、自分が行ってできることがあるのか、もう今更なのではないかという気持ちもあったが、気になっているなら参加した方がよいかと思い申込んだ。

街中のがれきは撤去されていて、埃っぽいと思っていた予想とは違い、市街は生活が戻っている様子であった。しかし、集落ごと失われたところや失われた道路など報道で見ている被害を目の当たりにした。

現地担当の方はフットワークが軽く、たくさん訪問に同行させていただいた。元々あった産業や雇用、健康、地域に関連する生活課題が震災をきっかけに表面化、悪化したことが見てとれた。

ご自宅へ赴き面接することで、電話以上に情報を得ることができ効果的であると感じ、職場に帰ってからの実践に生かしたいと刺激を受けた。

牡鹿半島で住民の方に、「僻地だからね。寝たきりの人は施設に入るからいない」と聞いて、「集落」「僻地」など言葉とは知っていたが、郊外・田舎などとは大きく違うと知った。また海は大変美しく、養殖のいかたが並び、災害にあっても「地元を離れたくない」という人の言い分が分かるような気がした。

(活動期間:平成24年10月14日~19日)

●●●10/19 富永 千晶(神奈川県 大倉山記念病院)

3か月ぶりに協力員として、参加しました。北上への訪問をしてきました。大川小学校も、見てきました。

いつ来ても「災害」(どこを見ても考えますが…)の重さをヒシヒシと考えます。

復興・地域再建を考えることの重大さ、そこに医療ソーシャルワーカーとしてどのように支援して行くことができるのか。もっとたくさんのことを学び、力をつけなければいけないのだなと考えさせられました。

●●●10/21 依光則子(現地担当)

久しぶりに中瀬まで歩いてみました。

石ノ森漫画館も再オープンまであと1ヶ月、復旧工事の真っ最中ですが、なにより内海橋の金属の欄干が、先日まで発災当時のままぐにやりと折れ曲がっていたのが、きれいに撤去され、新しい欄干がついていました。

先日自転車で走るのが怖いとご報告した道も、気づくと補修されていました。

復興の歩みの遅さに暗澹たる気分になりますが、少しずつ、着実に街は変わっているようです。

●●●10/22 依光則子(現地担当)

石巻在住の方が石巻の風物やガイド、ニュースを紹介するブログ

<http://ishinomakinews.blogspot.jp/>

地元の方の目線で紹介され、写真もすてきで石巻のことがよくわかります。この方が twitter では(少し古いですが)こんなまとめをされていました。

<http://togetter.com/li/298961>

過剰な支援が住民の自立を阻害する点は、仮設サロン支援連絡会議でも、今中心の話題です。

自立の力を支える支援のあり方について、何かと考え込んでしまいましたが、結局は一律のやり方でなく、個々の支援をそれぞれに丁寧にやることから始めるしかないのかなと思います。



いしのみキッチンにて(石巻市役所1階 仮設住宅のお母さん達がやってる食堂)

●●●3. 現地活動から

①日台山・2年ぶり神輿巡行

石巻医療圏・健康生活復興協議会（RCI）が在宅調査に入ったお宅で、日台山の避難路を直してほしいとご要望があり、去る5月、石巻工業高校の生徒たちと改修工事が行われました。

<http://youhc.blog.fc2.com/blog-entry-240.html>

<http://youhc.blog.fc2.com/blog-entry-246.html>

その際、地権者である日台山の鹿島御子神社の宮司さんに相談。すると40年ぶりに担ぎ手が担ぐ神輿巡行が行われ、協力者を募集中とのこと。担ぎ手が集まらなくなっただけでなく山車を引く形だったそうです。

今回の担ぎ手の多くは東京や群馬からのボランティアの方でしたが、石巻代表で加わってくれないかと頼まれ、加わったということです。

私も神輿を見学に行き、偶然にお二人をお見かけしてこの写真を撮影。

神輿は日台山にあるお宅を回った後、もともと氏子さんが多くいらした海側の被災区域へ降りて、更地のなか門脇小学校へ向かいました。

来年はまた山車に戻るだろうとの話、神輿復活の貴重な一日でした。

<報告および、写真撮影>

現地石巻 依光則子 氏

(写真は、RCI事務局・塩澤様と、住環境フォロー班・沼田様)



②恵み野団地だより

恵み野団地の自治活動を、現地スタッフ・協力員がお手伝いしております。
今回、その団地を出しているお便りを次ページ、次々ページでご紹介いたします。

恵みの団地だより

第 3 号

平成 24 年 10 月 10 日 (水) 発行

【 報 告 】

★ついに団地菜園が完成！

この菜園プロジェクトは高齢者や障害者支援などに取り組む「AAR Japan」団体が企画し、登米市出身の漫画家・大友克洋さんの原画展の売上金の一部の寄付を受け、実施されたものです。作業終了後には電動丸ノコ・1台、ドライバドリル・2台、水平器を頂きました。貸し出しもしますので、使用したい方はどうぞ。

9/26 に菜園贈呈式があり、石巻かほくにも掲載されました。木枠の作成から始まり大変な作業になりましたが、皆様のご協力で立派な菜園ができました。関係者の皆様、ありがとうございました！！

★「菜園の会」を作りませんか？

種のまき時や苗の植え時期、栽培方法を相談しあったり、収穫を喜び合える・・・
そんな仲間と菜園の会を作りましょう！！



【 みなさんにお知らせです！ 】

★自治会に助成金が届きます！

- 8月末に、恵み野団地自治会から赤い羽根共同募金で集められた「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」に基づく助成金事業（「地域ボランティア活動支援事業」）に助成金の申請を行いました。
- 地域住民のささえあい活動をする団体に1回・10万円を助成するもので、年2回まで申請可能です。
- このたび申請した活動計画が承認され、助成金が後日、自治会に入金される予定です。
- 助成金額は10万円です。
- 申請した行事予定について
 - ・収穫祭 ・クリスマス会 ・清掃活動
 - ・菜園料理会 ・新聞発行 等

明るく・楽しく・元気な団地づくりを
一緒に実行していきましょう！！



【 8/26 夏祭り経費報告 】

◆ 夏祭りの支出をご報告致します。

花火・焼きそば材料 (80人分)	¥16,923
子供用ジュース (20本)	¥2,500
焼き肉用容器 (50個)	¥596
木炭・ウーロン茶・焼きそば用容器	¥2,396
スイカ (3個)	¥3,100
焼き肉 (3kg)	¥6,100
氷 (ブロックアイス 5個)	¥1,575
交通費代として	¥2,000

計 ¥35,190

【きれいにしませんか？】

★草取りのお願い

自宅前や周辺の草やゴミを取って団地をきれいにしませんか？

ハチや蚊などの害虫の予防にもなるのでは？

・取り残しのないよう、自宅の前と後ろの両方から草取りをしましょう。

★ゴミ出しのお願い

指定日や時間帯、
分別のご協力を
お願いいたします。



【便利になります】

■団地内照明の追加

・団地内の広場に新たに照明が追加されます。夜でも安全に歩きやすくなります。場所は検討中です。



みんなの談話室
**こんなふうに使うことに
なりました。**



- 鍵持ち [redacted] に談話室の利用日を伝える。
- 利用日を談話室にある予定表に記入する。
- 利用時に談話室利用簿に記入する。
※退室時の清掃とチェックも忘れずに
お願いします！！



【ご注意ください！！】

★防犯の呼びかけ

先月、恵みの団地内で駐車車両からナンバープレート
の盗難事件がありました。
車に限らずお出かけの際など、戸締りは確認しまし
よう！！



■団地内での困りごとや悩み、解決のアイ
ディアがあれば、私たちへお知らせください。

- ◎恵み野団地自治会長：
- ◎鍵 持 ち：
- ◎班 長：
- ◎役 員：



- 蛇田ささえあい拠点センター事務室
- 社協見守り隊 [redacted] …※毎日ご希望の方の見守り訪問に来ています。

■一緒に考えませんか？

今後、定期的に団地役員懇談会を開催していきます。困りごとや悩みのある方、ご意見をお持ちの方は、どなたでもぜひご参加ください。

次回予定：日時 11月28日（水）13時半～
場所 蛇田ささえあい拠点センター

※恵み野だよりの発行について

前回の役員会で、以下のとおり決定しました。
・基本的に年間春夏秋冬の年4回発行します
・大きなニュースがあるときは、その都度緊急に協議して発行します

「恵み野団地だより」第3号
2012年10月10日発行
恵み野団地自治会・役員会（会長、鍵持ち、班長）
／社会福祉協議会（恵み野担当訪問支援員、支援コーディネーター）
／日本医療社会福祉協会（市ささえあい事業・ソーシャルワーカー）

●●●4. 災害対策本部からのお知らせ

【1.協力員募集】

●●●現 地

現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

***11 月、12 月もまだまだ空いております。ご都合の付く方、ご協力をお待ちしております！

●●●事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが 1～2 ヶ月に 1 回でも構いません。ご協力をお願い致します。

【2.災害対策本部会議】

10 月 6 日(土)に実施しました。

次回は 11 月 17 日(土)18:30～ 協会事務所にて開催します。

【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』の販売を行っています。

発災から昨年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



●●●注文用紙はホームページからダウンロードできます。

http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

【4.石巻市健康・生活復興フォーラム】

「石巻市健康・生活復興フォーラム～市民の生活復興、そして新しい地域の創造へ～」

日 程： 2012年10月29日(月) 14:00～16:30

場 所： 石巻専修大学 森口記念館

参加者： 省庁、宮城県、石巻市他自治体および関連事業所、復興支援団体等の関係各位

定 員： 300名

申込み期限： 2012年10月25日(木) 必着

お問い合わせ： 下記

Tel:0225-23-9561 Mail:ishinomaki.rc@gmail.com

* 申込フォームに必要事項を記入の上、FAX、メールにてお申込みください。

* 詳細は下記のURL(石巻市健康・生活復興協議会Facebook)をご参照ください。

●●●URL

http://www.facebook.com/photo.php?fbid=427356760655501&set=a.351353854922459.82749.332333643491147&type=1&relevant_count=1&ref=nf

【5.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

●●●URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【6.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



●●● URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

【7.現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

●●●①現地常駐者(短期契約職員)

- ・就業場所:宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間:9~17時
※業務の関係で残業あり。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月
- ・通勤費実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

●●●②災害対策本部事務所担当(パート職員)

- ・就業場所:協会事務局内
- ・就業時間:週3日程度 10~17時
※業務の関係で残業あり。
※頻度・時間は応相談。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円~ 通勤費は実費支給
- ・経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

●●●お問い合わせ

住所: 〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル
電話: 03-5366-1057
担当: 笹岡・中川

●●●5. 事務所感想文

現地と災害対策本部の共有ソフトが稼働しています。
各種報告書や画像が多くアップされており、現地活動の大変さと素晴らしさをあらためて感じました。
もっと多くの情報を伝えていくべきと強く感じた一日でした。

10/19 群馬県 独立行政法人国立病院機構 西群馬病院 尾方 仁

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成 24 年 10 月 26 日 第 2 巻 29 号
作 成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ：㊦んぎ（縁起）だるまの少林山
（少林山達磨寺：群馬県高崎市）